

第8回日本在宅看護学会学術集会を今年12月8〜9日に、静岡で開催いたします。今大会のテーマは「看護研究を実践に活かそう——実践・教育・研究のコラボレーション」です。

学会創設から7年が経過し、実践者の発表も増えてきました。今大会においても、研究者・教育関係者はもとより、実践者の皆さんにぜひご参加いただきたいと思っています。

在宅看護で活躍する根拠の蓄積を

在宅看護も、健康問題に対する看護である以上、医学的根拠に基づく必要があります。ただ、在宅看護の実践の場は生活空間である一方、これまで蓄積されてきた医学的根拠は「医療施設内において提供するもの」を前提としていることが多く、必ずしも多様性に富む生活空間で活躍するものとは限りません。つまり、在宅看護の実践に活躍する根拠は、創り上げ、蓄積していくことが求められているのです。

今大会のテーマには、次の思いを含めました。実践・教育・研究に携わる看護職者が、学術集会の場でコラボレーションしてほしい。それにより、在宅看護に関する事例の蓄積や看護・ケア現象の記述が進み、根拠を生み出し、活用されるようになってほしい。企画した基調講演「看護研究の実践への還元」では、講演者・川村佐和子先生（聖隷クリストファー大学大学院）とともに、先述した思いを現実のものにしていくことをめざ

して考える場としたいと思います。

このほかに口頭44・示説70の計114演題が発表される予定です。松田晋哉先生（産業医科大学）による教育講演「医療ビッグデータが示す訪問看護の実績」のように、在宅看護の立ち位置や向かう先を展望する機会になる演題も盛りだくさんです。

日本は世界に類を見ない超高齢社会を迎えました。それに伴い、在宅看護の射

求む！

実践・教育・

研究のコラボ

第8回日本在宅看護学会

学術集会を開催します

第8回日本在宅看護学会学術集会会長
静岡県立大学看護学部教授
富安眞理

程は訪問だけでなく、療養通所介護や看護小規模多機能型居宅介護、共生型サービスに広がり、対象者もまた広範囲となっています。そのなかでは、「現場発想」の看護研究、つまり地域の課題やニーズをキャッチした看護研究がこれまでに以上に求められていると実感しています。一歩、考えを推し進めるためにも、在宅看護に関わる皆さんの来静を心よりお待ちしております。

第8回日本在宅看護学会学術集会 看護研究を実践に活かそう——実践・教育・研究のコラボレーション

日時 12月8日(土)・9日(日)

会場 静岡県立大学小鹿キャンパス(静岡県静岡市)

プログラム

会長講演「療養生活のクオリティを支える実践・教育・研究」富安眞理(静岡県立大学看護学部)

基調講演「看護研究の実践への還元」川村佐和子(聖隷クリストファー大学大学院)

シンポジウム1「地域包括ケアシステム再考——在宅看護の現場から」雨師みよ子(大阪府訪問看護ステーション協会)、小松洋子(奈良県訪問看護ステーション協議会)、岡俣一郎(静岡県医師会)

シンポジウム2「実践と研究のコラボレーション——在宅看護の未来を拓く」須藤久美子(飯塚病院)、原口道子(東京都医学総合研究所)、渡邊千登世(神奈川県立大学保健福祉学部看護学科)

パネルディスカッション1「訪問看護におけるキャリアラダー」駒井和子(滋賀県訪問看護ステーション連絡協議会)、今野好江(北海道訪問看護ステーション連絡協議会)、椎名美恵子(東京都訪問看護ステーション協会)

パネルディスカッション2「地域で育てる！ 新卒訪問看護師の人材育成」平尾佳奈(鳥取県看護協会訪問看護ステーション)、並木奈緒美(ゆうき訪問看護ステーション)、山田雅子(聖路加国際大学大学院)

パネルディスカッション3「地域の未来をつくる共生型サービス」寺田悦子(株式会社社グループ)、戸崎亜紀子(星総合病院在宅事業部)、吉田靖子(あさがお訪問看護ステーション)

教育講演1「ビッグデータから考える在宅看護の現状と課題」松田晋哉(産業医科大学医学部公衆衛生学教室)

教育講演2「看護研究の成果を政策へつなぐ」福井小紀子(大阪大学医学部保健学科)

教育セミナー1「学会読への論文投稿の準備と査読への対応」清水準一(東京医療保健大学千葉看護学部)

教育セミナー2「看護研究における倫理」西田幸典(昭和大学保健医療学部医事法学)

交流集会「慢性疲労症候群の患者の在宅ケアについて」「在宅看護実習に特有な学生のつまずきに着目した教育を考える」「在宅療養者の緊急事態に対応する訪問看護と救急看護の看看連携の実態調査結果からの意見交換」「難病をもつ人への継続看護について考える(日本専門看護師協議会地域・在宅看護領域企画)」「災害時にも機能する地域包括ケアを考える——訪問看護ステーション・地域医療機関や行政と共に」「訪問看護とリハビリテーションのより良い連携——明日から使える3つのポイント」「在宅療養をしている子どもと家族の意思決定を支援する」

学会企画研修セミナー「看護基礎教育検定を踏まえた在宅看護の今後と現場に及ぼす影響」山田雅子(聖路加国際大学大学院)

参加費 会員9000円、非会員1万円、大学院生3000円、学部学生1000円(いずれも当日登録の場合)
※学部学生・大学院生は当日、受付にて学生証を提示

第8回日本在宅看護学会学術集会事務局
〒422-8021 静岡県静岡市駿河区小鹿2-2-1
静岡県立大学看護学部 富安研究室内
✉ zaitaku8@u-shizuoka-ken.ac.jp